

## 第2回日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合（12月16日）

- (1) 日 程： 令和2年12月16日(水) 13:00~19:00（日本時間）
- (2) 場 所： web 会議形式
- (3) 主 催： 国土交通省（後援：外務省 協力：内閣府、総務省、経済産業省、環境省）
- (4) 議 長： 日本・国土交通省（国土交通審議官）及びベトナム建設省（副大臣）
- (5) 出席者： ASEAN 10 カ国・日本インフラ担当官庁次官級・局長級等、  
ASCN 26 都市代表者、ASEAN 事務局、日本自治体、  
日本企業、現地企業、関係団体 等
- (6) 実施機関：（独）都市再生機構
- (7) 参加登録数： 約 1200

（日本側）

内閣官房（和泉内閣総理大臣補佐官 他）

国土交通省（赤羽国土交通大臣、野村国土交通審議官、石原海外プロジェクト審議官 等）

経済産業省（宗清経済産業大臣政務官 他）、総務省（新谷総務副大臣 他）、

環境省（宮崎環境大臣政務官 他）、（独）都市再生機構（大森統括役 他）、

地方公共団体（五十嵐つくば市長、豊崎益田サイバースmartシティ創造協議会代表理事 他）、

日本企業・関係団体 他

（ASEAN 側）

・ASEAN 10 カ国・ASCN 26 都市の代表

ベトナム（共同議長国）、ダナン、ホーチミン、ハノイ

タイ、バンコク、チョンブリ、プーケット

ブルネイ、バンダルセリブガワン

カンボジア、プノンペン、シェムリアップ、バタンバン

インドネシア、バニユワング、ジャカルタ、マカッサル

ラオス、ルアンパバーン、ビエンチャン

マレーシア、ジョホールバル、クアラルンプール、クチン、コタキナバル

ミャンマー、ヤンゴン、マンダレー、ネーपीドー

フィリピン、セブ、ダバオ、マニラ

シンガポール

・ASEAN 事務局 等

（8）会議概要（[別紙2](#)参照）

【オープニングセレモニー】

① 挨拶

赤羽一嘉国土交通大臣他各省政務、ASEAN 事務局 リム事務総長より冒頭挨拶がなされました。



新谷総務副大臣



宗清経済産業大臣政務官



宮崎環境大臣政務官



ASEAN 事務局 リム事務総長

## ② 基調講演

和泉洋人内閣総理大臣補佐官より『Trends in Smart Cities and Proposal for Japan-ASEAN Partnership』と題して基調講演を行いました。基調講演の中で、日本とASEANとの相互協力によるスマートシティの新たな支援策『Smart JAMP』[別紙5](#)の提案がありました。



和泉洋人内閣総理大臣補佐官による基調講演

### 【全体会合】

共同議長である野村国土交通審議官及びシン ベトナム建設省副大臣より開会の挨拶を行いました。これに続き、日本及びASEAN各国・各都市のスマートシティに係る取組や優良事例について紹介がなされました。

### 【クロージングセレモニー】

＜個別覚書への署名＞ ([別紙3](#)参照)

ASEAN 各都市や日本民間企業等との間で、今後の具体的な協力について4つの覚書の署名がなされました。

マカッサル市－アクセンチュア

マカッサル市－海外通信・放送コンサルティング協力(JTEC)

国交省－タイ政府運輸省

国交省－タイ政府デジタル経済振興庁(DEPA)

＜成果文書の採択＞ ([別紙4](#)参照)

日本は、ASEANのスマートシティの実現をさらに加速化させるため、案件形成調査や実証事業の実施、金融支援の促進、ASEAN各国各都市の現地における協力体制等を内容とする新たな支援パッケージを提案し、今後、早急にこの支援策が迅速かつ有効に実施されるよう、関係機関による具体的な作業に取り組むことが合意されました。

### 【官民交流セッション】

＜オープンセッション＞

ASEAN側からのプレゼンテーション(参加者からの質疑応答)

・参加都市、中央政府

ネーピードー、プノンペン、シェムリアップ、バットンバン、ジョホールバル、ベトナム建設省、タイ(運輸省(バンコク)、エネルギー省(チョンブリ)、デジタル経済振興庁(プーケット))

＜クローズドセッション＞

ASEANの都市、中央政府とJASCA会員が個別面談(内容非公開)

プレゼン資料は公式 HP からダウンロード可能です。

＜ハイレベル会合公式サイト URL＞

日 <https://www.ascnjapan2020.jp/jpn/index.html>

英 <https://www.ascnjapan2020.jp/>